希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100―8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

伝言板

▼宮城県東松島市大塚の「ともの理容所」経営、友野久子さん(66)へ　埼玉県戸田市の千葉京子さん(65)が捜しています。宮城県瀬峰町立瀬峰中学校（当時）時代の同級生です。約5年前に友野さん宅で会いましたが、海が目の前でした。

「電話が通じず、心配しています。消息を自宅（048・444・9537）にお知らせください」

× × ×

▼女性用の靴の送り主、決まりました　20日掲載「女性用の靴求む」の岩手県陸前高田市の菅野匡子さんに、申し出が相次ぎました。東京都文京区の女性(43)は、菅野さんと祖母、母の3人分の長靴とスニーカー計6足を購入して送るそうです。女性は「伝言板を読んで被災地の生の声に胸を打たれ、動こうと思いました」。

静岡県焼津市の安田京子さん(61)も、3人分の長靴とスニーカー計6足を購入して送ったそうです。「菅野さん、生き抜いてください」とエールを送っています。三重県伊勢市の酒徳和子さん(59)も、スニーカー3足を購入して送ったとのこと。「高い物ではありませんが、これからたくさん歩くので替え用も必要では」。投稿した菅野さんは「助かります。皆さんに感謝のお手紙を出します。他にも届けば、周りの被災者の方にも靴を配れればと思います」と話していました。

▼NPOスタッフを募集　「県外避難者相談ホットライン」を設けているNPO法人街づくり支援協会（大阪市中央区）は、ボランティア(無給)のスタッフ3～5人程度を募集します。交通費は支給します。ホットラインは土日祝日を含む毎日10～17時に開設しており、電話取り次ぎなどの簡単な業務から手伝ってください。

不用な事務用品も募っています。机▽椅子▽ソファ▽部屋の仕切り▽コピーができる複合機――があれば。いずれも事務局次長の黒田俊司さん（090・7875・8448）に連絡してください。県外避難者専用のホットラインは☎06・4964・1122。

▼南米音楽のチャリティーコンサート　23日午後7時、東京都渋谷区神宮前5の東京ウィメンズプラザ（東京メトロ表参道駅徒歩7分、国連大学隣）で。南米アンデスの竹笛であるサンポーニャとケーナを第一人者の瀬木貴将さんが演奏します。曲目は「コンドルは飛んでいく」「花祭り」など。休憩時間に軽食とソフトドリンクが出ます。

入場無料で、来場者から義援金を募ります。主催はペルー政府・貿易観光庁日本代表事務所。当日参加できます。

ボランティア

会員約70人派遣の兵庫県薬剤師会

役に立った「お薬手帳」

笠井秀一さん

兵庫県薬剤師会（神戸市）は、これまで約70人の会員をボランティアとして宮城県南三陸町や石巻市に派遣している。4月3～5日、同町の救護所で薬の処方や服薬指導をした同会副会長の笠井秀一さん(52)は「1日に100～150人が訪ねてきたが、高血圧や糖尿病など慢性疾患に悩む高齢者が多かった。夜眠れない、という相談もたくさんあった」と話す。

被災地では、通常時のように薬がそろっていない。医師の処方通りの薬がない場合は同じ効き目の別の薬を探すなど、薬剤師には臨機応変な対応が求められる。役に立ったのは被災者らが個別に保有し、薬局などの処方が記録してある「お薬手帳」だ。「救護所などの医師は日々代わり、カルテの管理もままならない。でもお薬手帳があれば、これまでの経緯がわかる。災害時にはぜひ、持ち出してほしい」という。

糖尿病でほぼ視力がない娘を、80代の母親が介護するケースもあり、「今後、仮設住宅などに移った後が心配」と心を痛める。

笠井さん自身、阪神大震災で被災し、経営していた神戸市中央区の薬局が全壊。約1カ月間、保健所内の救護所でボランティアをした経験をもつが、「今回の震災は被災者の数が圧倒的に多いと感じた」と話す。

被災地では徐々に救護所が閉鎖されているが、今後も会員派遣を続ける考えだ。

「食事の管理や生活習慣のアドバイスもしたい」と意欲を燃やす。【榊真理子】

サポート情報

東日本大震災

20日現在

医療

＜岩手県＞宮古、釜石、気仙沼地区の休日当番医は次の通り。22日＝釜石病院（内科、小児科、神経内科、リハビリテーション科）▽前田整形外科内科医院（久慈市、内科、整形外科）▽県立宮古病院

＜宮城県＞県休日・夜間診療案内▽仙南地区☎0224・53・3409▽仙台地区☎022・216・9970（仙台市内は☎022・216・9960）▽大崎、栗原、登米地区☎0229・24・2267▽石巻地区☎0225・95・3290▽気仙沼地区☎0226・24・2154

県の福島第1原発事故に関する健康・医療相談は、県庁1階の窓口（9～17時）か☎022・211・3323へ。

＜福島県＞救急医療情報案内サービス☎0120・963・990

＜茨城県＞救急医療情報システム☎029・241・4199（年中無休24時間対応）

■歯科

＜岩手県＞

県歯科医師会が沿岸地域の避難所を中心に巡回診療をしている。移動診療車の派遣は次の通り。

21日＝大浦漁村センター（10～12時）、瑞然寺（14～16時）▽23日＝織笠小（10～12時）、陸中海岸青少年の家（14～16時）▽24日＝豊間根中（10～15時）

＜宮城県＞

22日の休日診療は次の通り。

仙台市＝仙台歯科福祉プラザ☎022・261・7345（10～12時、13～16時、19～23時）▽多賀城市＝ホワイト歯科クリニック☎022・367・6151（9～15時）▽名取市＝鈴木歯科医院☎022・383・5711（9～17時）▽亘理町＝いそだ歯科☎0223・33・0570（9～17時）▽柴田町＝川口歯科医院☎0224・55・5493（9～17時）▽石巻市＝高砂本家歯科医院☎0225・24・2311（9～17時）、石巻歯科医師会休日診療所☎0225・94・8223（9～17時）▽登米市＝高橋歯科医院☎0220・52・3210（9～17時）▽気仙沼市＝菅野歯科医院☎0226・24・3777

■乳幼児健診

宮城県女川町は22～24日、0～5歳の全乳幼児を対象に健康診断を実施する。場所は町総合運動場1階会議室。震災で従来のデータが失われたため、乳幼児の健康状態や予防接種状況の再確認をする。

22日＝0、1歳半児▽23日＝2、3歳児▽24日＝4、5歳児。受け付けは9時～9時10分。都合がつかない場合は、どの日でも受けられる。健康診査票、予防接種記録、母子手帳が必要。町健康福祉課☎0225・53・3151。

交通

■鉄道

JR石巻線は前谷地―石巻間の運転を再開した。在来線の再開見込みは次の通り。

＜仙石線＞東塩釜―高城町は今月下旬。高城町―石巻は未定

再開見込みの立たない路線と区間は次の通り。

＜八戸線＞階上―久慈
＜岩泉線＞茂市―岩泉
＜山田線＞宮古―釜石
＜大船渡線＞気仙沼―盛
＜気仙沼線＞柳津―気仙沼
＜石巻線＞石巻―女川
＜常磐線＞久ノ浜―亘理

JR以外の路線の運行状況は次の通り。

＜三陸鉄道北リアス線＞宮古―小本、陸中野田―久慈は運行。小本―陸中野田は再開未定

＜三陸鉄道南リアス線＞全線（盛―釜石）不通、再開未定

＜仙台空港アクセス鉄道＞全線（名取―仙台空港）不通。名取―美田園は7月末、美田園―仙台空港は9月末再開予定

■バス

＜岩手県北バス＞☎019・654・5814　盛岡と仙台、青森などを結ぶ路線を運行。盛岡と福島、郡山の路線は22日で終了

＜岩手県交通＞☎019・654・7755　大船渡―陸前高田―一関を結ぶ臨時便など。盛岡―釜石は大槌町まで延長して運行

＜ミヤコーバス＞☎022・771・5310　仙台から気仙沼、石巻、山形、福島などへ運行

＜JRバス東北＞☎022・256・6646　仙台からいわきなど。夜間高速は仙台―新宿など

＜東日本急行＞☎022・218・3131　仙台から登米、一ノ関など

＜仙台空港鉄道＞☎022・707・2235　仙台空港―JR名取駅で鉄道の代行バスを運行中

＜福島交通＞福島支社☎024・531・2706、郡山支社☎024・943・1651　福島―盛岡線、郡山―盛岡線は22日で終了。23日からは郡山―福島―盛岡線として運行

みんな元気

自衛隊のテントが建つ運動場で体育の授業を行う市立米崎小の児童＝岩手県陸前高田市で、幾島健太郎撮影

ボランティア

石巻ボランティアバス参加者募集　国際救急法研究所（横浜市港北区）は27日と6月10日に出発し、宮城県石巻市で活動するボランティアを募集している。横浜駅発のバスで現地に向かう。参加費は大人7000円、学生6000円で、ともに定員40人（30人以上で実行）。市ボランティアセンターの指示で住宅の泥出しなどをする。

日程は次の通り。27日＝22時40分、横浜駅西口集合▽28日＝石巻市で活動、23時現地発▽29日＝朝7時ごろ横浜着。6月10～12日も同じ予定。同研究所にメール（kokukyu@af.netyou.jp）で申し込む。

商業施設

■道の駅

東北「道の駅」連絡会が東北「道の駅」復興支援スタンプラリーを行っている。東北6県にある道の駅を回って、チャレンジブック（300円）にスタンプを集め、12年1月10日までに応募すると、押印数に応じて抽選で賞品が当たる。東日本大震災の影響で、岩手県の高田松原、宮古と福島県のならは、南相馬の計4カ所は休業中。チャレンジブック代金のうちの100円が復旧の資金に充てられる。問い合わせは事務局（☎022・398・5518）まで。主な道の駅は次のとおり。

＜岩手県＞

くじ（久慈市中町2、☎0194・66・9200）21、22日に歴通路うまいもん横丁を開催。屋台で山菜を使った郷土料理が食べられる。売り上げの一部は寄付される。

たろう（宮古市田老重津部、☎0193・87・2239）飲食コーナー、産品交流コーナー営業中。

にしね（八幡平市大更2、☎0195・75・0070）産直売店やレストランが営業中。

雫石あねっこ（雫石町橋場坂本、☎019・692・5577）22日まで温泉入浴の営業時間を短縮。土日は11～21時。

＜宮城県＞

三本木（大崎市三本木大豆坂、☎0229・53・1333）売店（8～18時）、食堂（8時～17時半）が営業時間を短縮。

おおさと（大郷町中村北浦、☎022・359・2675）21、22日に特設コーナーで沖縄ミニフェアを行う。また、22日11～14時に町内の飲食店などが屋台を出すイベントがある。売り上げの一部は寄付される。

上品の郷（石巻市小船越二子北下、☎0225・62・3670）農産物直売所（9～19時）、温泉保養施設（9～21時）などが営業中。また22日に震災復興イベントとして、月扇流舞踊ショーを行う。17時半、18時半の2回。

＜福島県＞

喜多の郷（喜多方市松山町鳥見山三町歩、☎0241・24・2920）温泉施設（9～21時）が営業中。被災者は日帰り温泉の入湯税（150円）を免除する。

■コンビニ

コンビニエンスストアチェーンが移動販売車や仮設店舗で臨時営業を行っている。営業を再開する店舗も増えている。

セブンイレブン　宮城県多賀城市の多賀城大代5丁目店が再開した。石巻市の石巻鹿妻店も22日に再開する予定。

ローソン　宮城県南三陸町で仮設店舗、南三陸エムズ店が営業中。営業時間は7～19時。

ファミリーマート　31日まで岩手県釜石市に仮設店舗、釜石片岸店が営業中。営業時間は10～15時。調理設備のある移動販売車を稼働させ、揚げ物も販売する。

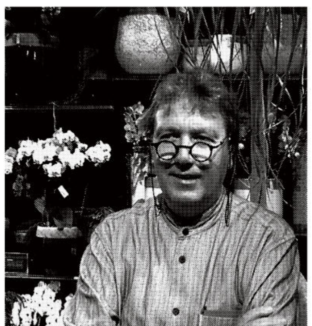
サークルKサンクス　仙台市宮城野区の仙台港入口店が保冷車と仮設テントで再開した。営業時間は7～15時。

ミニニュース

■要介護者を無料で受け入れ　首都圏で有料老人ホームを展開する長谷川介護サービス（東京都豊島区）は、被災した要介護高齢者を、千葉県柏市に5月1日オープンしたばかりの有料老人ホーム「イリーゼ柏しいの木台」で受け入れる。入居一時金（100万円）と月額利用料（食費、管理費込みで18万9000円）は無料で、介護費は通常の自己負担が必要。約18平方㍍の居室を2人で利用してもらう。問い合わせは同社☎0120・12・2943。

■三陸の民俗芸能演じるチャリティー公演　全国各地の民俗芸能を舞台化している荒馬座（東京都板橋区、23人）は26日、新宿区大久保のR'sアートコート（東京労音大久保会館）で、岩手県大船渡市の「浦浜念仏剣舞」など三陸地方の芸能を演じる。05年から同座に剣舞を指導してきた地元の保存会から、被災地の報告もある。公演は1時間で定員約200人。1回目は15時、2回目は19時から。入場料3000円は全額、保存会などに寄付する。荒馬座☎03・3962・5942。

■チャリティーで花の装飾展　世界的なフラワーアーティストでベルギー在住のダニエル・オストさん(56)＝写真＝が24～26日、東京都港区三田2の洋館「綱町三井倶楽部」で、被災地支援の花のインスタレーション展を開く。入場料4000円で、収益の一部を日本赤十字社に寄付する。「花の詩人」と称されるオストさんが、三井家の迎賓館として建てられた洋館を花の造形で装飾する。華やかな作品で知られるが「チャリティーなのでぜいたくさを控え、ブッダフラワーといわれる清楚（せいそ）なユキモチソウなどを使い、質素な美しさを表現したい」と話す。ダニエル・オスト事務所☎03・5537・3815。



■くじら汁炊き出し　漁業に関心のある全国の市民でつくる「ウーマンズフォーラム魚（WFF）」（東京都中央区）が21、22日、宮城県女川町で伝統のくじら汁、くじらの竜田揚げの炊き出しを行う。女川漁港で働く女性たちが「おいしい港料理を食べて元気を出してほしい」と発案。女川町に支部のあるWFFが協力することになった。21日は12時から女川第一小、22日は12時から勤労青少年センター、第一保育所で炊き出しを行い、両日で計1000食分を提供する予定。

■たこ焼き炊き出し　大阪のたこ焼き、お好み焼き店10社でつくる「上方お好み焼たこ焼協同組合」（事務局、大阪市中央区）が22日11～15時、宮城県女川町の女川第一小で、大阪のたこ焼きとお好み焼き計2000食を無料で振る舞う。子供を対象に、本物そっくりのたこ焼きのロウサンプル作りのコーナーも設置。先着70人が体験できる。同組合の担当者は「コナモンの聖地、大阪から総力をあげて振る舞います。ぜひ、食べて少しでもほっこりする時間を」と話している。

■被災地へボランティアに行くには■

各地の災害ボランティアセンター（VC）が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

＜岩手県＞

県VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。

◆県VC　☎019・637・7594　サイトでは個人参加できるボランティアバスの運行状況や各VCの募集情報を公開中

◆遠野市VC「遠野まごころネット」　☎0198・62・1001　遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可

◆宮古市VC　☎090・4478・3984　10人以内のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

◆陸前高田市VC　☎090・1344・5763または090・2852・9736　県外からはグループ単位で要事前連絡

◆大槌町社協VC　☎080・3518・8490　5人以上の団体で要事前登録。個人参加は県VCの盛岡発ボランティアバスを利用する

＜宮城県＞

各VCが県外からの個人ボランティアも受け付けている。詳細は各VCのサイトで。

◆仙台市VC　☎022・262・7294　5人以上での参加は要事前申し込み

◆石巻市VC　☎0225・23・6015　10人以上の団体は要事前連絡

◆塩釜市VC　☎080・1679・8988　21、22日は活動休止

◆気仙沼市VC　☎080・5949・7475　JR一ノ関駅発着の送迎バス（20人）は21日から、これまでの先着制を予約制に切り替える。31日まで。朝8時発で帰りは17時半着

◆名取市VC　☎022・784・3029　団体は要事前問い合わせ

◆多賀城市VC　☎080・5949・7501　土のう袋が不足しているので、なるべく持参

◆岩沼市VC　☎080・5949・7541　8人以上の団体は要事前申し込み

◆東松島市VC　☎0225・83・5001　車中泊スペースあり。土のう袋をなるべく持参。5人以上のグループは前々日までに申し込み

◆亘理町VC　☎080・5949・7719

◆山元町VC　☎080・5949・7720　前日までに要申し込み

◆七ケ浜町VC　☎090・6853・4490　団体は要事前申し込み

◆南三陸町VC　☎080・2055・1066　団体は受け入れていない

＜福島県＞

4市町で県外ボランティアも募集中。特に南相馬市VC、新地町VC、いわき市VCでニーズが高い。

◆県VC　☎090・2852・9618または090・2852・9478　21日～6月5日の毎週土日、JR郡山駅西口発着でいわき市へのボランティア送迎バスを運行。昼食込み1000円、要事前申し込み☎024・521・1341

◆相馬市VC　☎0244・36・7827

◆南相馬市VC　☎0244・24・1877

◆新地町VC　☎0244・62・5577　要電話確認。テント泊、車中泊は禁止

◆いわき市VC　☎0246・22・5501

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル

岩手県警	0120・801・471
宮城県警	022・221・2000
福島県警	024・522・2151（内線3024）

●通信・ライフライン

NTT災害用伝言ダイヤル	171
日本郵便	0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力	0120・175・366

●医療

文部科学省健康相談ホットライン・放射線関連	0120・755・199（9～21時）
放射線医学総合研究所相談窓口	043・290・4003（9～17時）
日本糖尿病協会	0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）	紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時） 紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン	054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク	052・485・5208

●生活支援

日弁連電話相談	0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会	0120・755・745（月～土曜13～16時）
仙台弁護士会	0120・216・151（10～16時）
福島県弁護士会	024・534・1211（平日14～16時）
全国社労士会連合会	0120・000・528（平日10～17時）
日本司法書士会連合会	0120・445・528（平日10～16時）
あしなが育英会　被災者専用	0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話	0120・111・916（19～21時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン	0120・99・7777（月～土16～21時、18歳までの子ども向け）
震災関連の悪質商法110番	0120・214・888（10～16時）

●省庁　※平日のみ

公営住宅等情報センター	0120・297・722（9～18時。全国の公営住宅などを紹介）
住宅の補修・再建（国交省）	0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）	0120・511・556
金融相談（東北財務局）	022・721・7078
中小企業相談（経産省）	0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）	0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）	0120・707・118※

●金融・保険　※平日のみ

ゆうちょ銀行	0120・108・420
住宅金融支援機構	0120・086・353
日本政策金融公庫	0120・154・505（土日0120・220・353）
預金口座照会センター（全銀協）	0120・751・557※
災害地域生保契約照会センター（生保協会）	0120・001・731※
そんがいほけん相談室（日本損保協会）	0120・107・808または03・3255・1306

●移転した役所

＜岩手県＞		
陸前高田市	高田町鳴石	0192・54・2111
釜石市	シープラザ釜石	0193・22・8253
大槌町	大槌小学校	0193・42・2111
＜宮城県＞		
女川町	女川第二小学校	0225・54・3131
南三陸町	町総合体育館ベイサイドアリーナ南側テニスコート	0226・46・2600
＜福島県＞		
広野町	FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場	0246・43・1331
楢葉町	会津美里町本郷庁舎	0242・56・2155
富岡町	郡山・ビッグパレット	0120・336・466
川内村	郡山・ビッグパレット	024・946・8828
大熊町	会津若松市追手町第2庁舎	0242・26・3844
双葉町	旧埼玉県立騎西高校	0480・73・6880
浪江町	二本松市東和支所	0243・46・4731
葛尾村	会津坂下町・川西公民館	0242・83・2651
★双葉郡支援センター	上記8町村の避難住民向け。8～22時	0120・006・865
★一時立ち入り受付センター	8～22時	0120・208・066

南相馬、楢葉、富岡、双葉、大熊、浪江の6市町への一時立ち入りに必要な登録を受け付ける

希望新聞

「40年ぶり姉妹で生活」

自宅のあった場所で拾った写真を見て懐かしむ篠沢光子さん（左）と昆キンさん

声　被災地から

岩手

山田町の山田高校に姉の昆キンさん(64)とともに避難している篠沢光子さん(50)「姉の家へ遊びに行っていた時に津波に遭い、一緒に逃げました。姉の夫は山田町で、私の次男は宮古市で行方不明になりました。2人を捜しています。震災を機に40年ぶりに一緒に生活しています。2カ月間、ケンカしたり笑ったり泣いたりして、支え合ってきました。姉さんがいて良かった。これからもお互い困った時は助け合っていきたい」

福島

南相馬市立原町第一小学校体育館に避難した介護ヘルパー、佐藤順子さん(53)「津波被害に遭った自宅は残っていますが、福島第1原発から20キロ圏内にあるため4月下旬にここに来ました。生活は不便ですが、交流ができてにぎやかです。あいさつしたり、ラジオ体操したりして顔見知りが増えました。久しぶりに小中学校の同級生にも会えました。落ち着いたら、また介護の仕事を探したいです」

佐藤順子さん（左）と実母の安藤末子さん

宮城

避難所で高齢者らの世話をしながら暮らす石巻市の佐藤美穂さん(48)「遠洋漁業とカキ養殖の会社を夫と運営していましたが、船と自宅は流されました。高台の漁具倉庫を避難所に提供し、高齢者や知的障害者ら約20人と共に一つ屋根の下で生活しています。物資が届かず、水道も最近まで出なかった。ボランティアの人たちに元気をもらっています」

「ボランティアの皆さんに元気をもらってます」と話す、笑顔の佐藤美穂さん（左）

Q&A

Q　自家用車が津波で流されました
A　買い替える場合は税の減免措置があります

日本損害保険協会などに聞きました。

自動車保険に加入していても、地震の特約に加入していなければ、保険金は支払われません。ただ、そうした特約は、国が保険料を折半する住宅の地震保険と異なり、保険会社が独自に販売しているため、加入者が少ないのが現状です。

一方、津波に流されるなどして使えなくなった車の自動車登録を抹消し、新たに車を購入した被災者を対象に、自動車重量税、自動車税、自動車取得税を13年度まで非課税・免税する特例法案が可決されました。

国土交通省によると、流された車がどこにあるかわからなくなったり、震災時に偶然被災地にいて被害に遭った人も対象です。抹消登録は、車検証の交付を受けた運輸支局で手続きします。被災証明が難しい場合でも、申請する人が申立書を窓口で受け取り、記入すれば、認められる特例措置があります。その後、車検の残り期間に応じて、自動車重量税が還付されます。

買い替えない場合は、廃車手続きをしないと自動車税、軽自動車税が課税され続けます。

宮城県税務課は「生活が落ち着いたら県や市町村の税事務所に届け出を」と呼び掛けています。自賠責保険や任意保険の保険料が一部返還される可能性があるので、保険会社に連絡しましょう。【百武信幸】

避難者に正しい歯の磨き方を教える倉治ななえ常務理事（左）＝石巻市の渡波小で20日

避難所に「歯～ト♡」石巻

日本歯科医師会と宮城県歯科医師会は20日、同県石巻市の避難所で「歯（は）～ト♡とどけるプロジェクト」を実施し、被災者一人一人に歯ブラシなどを配りながら、歯磨きの仕方などを説明した。

同医師会によると、避難所生活が長引くとストレスで抵抗力が落ち、虫歯や口内炎などが進行する恐れがある。阪神大震災では、口内の細菌などが肺に入り込んで発病する誤嚥（ごえん）性肺炎で亡くなった被災者の数が100人を上回ったという。

虫歯や口内細菌による誤嚥性肺炎は正しい歯磨きで予防可能なため、プロジェクトでは歯ブラシ、歯磨き剤などが入った「歯みがきサポートポーチ」5000セットを用意。同市内の避難所約50カ所で配布した。

倉治ななえ日本歯科医師会常務理事(56)は「歯磨きを怠ることで、命が奪われることもある。歯磨きの大切さを知ってほしい」と話した。【三村泰揮、写真も】

裁判員1万人超

制度2年 実施状況

最高裁まとめ

裁判員制度開始から2年となる21日を前に、最高裁は制度開始から3月末までの実施状況をまとめ、20日公表した。全国で選任された裁判員は1万1889人に上り、2060人の被告に判決が言い渡された。裁判員候補者になったのは17万7794人。辞退が認められた人などを除く8万2586人が呼び出され、約8割に当たる6万6203人が選任手続きに出向いた。【伊藤一郎、野口由紀】

有罪2053人　強姦致傷に厳しく

裁判員裁判で有罪を言い渡された被告は2053人で、一部無罪は2人、全面無罪は5人。量刑を従来の裁判と比較すると、強姦（ごうかん）致傷事件でより厳しい傾向が表れたが、殺人や強盗致傷事件では大差がなかった。判決前に被告が保釈される割合は約3ポイント増の約8・3%になった。

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手、宮城、福島の3県では審理中か予定されていた裁判員裁判8件で期日の取り消しが相次いだ。一部の裁判は改めて期日が決まるなど再開の方向だが、各地裁は、避難生活を送る被災者がいる計28市町村（仙台市は一部）には呼び出しをしない措置をとっている。

一方、最高検も裁判員裁判に関連した捜査や公判の状況を公表。対象事件で行う取り調べの一部録音・録画は09年4月から今年3月末まで3296件で実施し、うち35件のDVDが法廷で証拠採用され、いずれも自白の任意性が認められた。

3月末までに裁判員裁判で判決が言い渡された被告のうち223人の裁判で、被害者、遺族や被害者側弁護士が「被害者参加制度」に基づき、法廷で被告人質問などをした。内訳は▽意見陳述189件▽被告人質問173件▽証人尋問68件。対象事件で起訴したのは4月末現在で3555件、3139人（被告）。検察が判決を不服として控訴したのは、昨年12月に鹿児島地裁であった強盗殺人事件の全面無罪判決を含め計6件だった。

気仙沼「鳴き砂の浜」天然記念物に

文化審 8件を答申

文化審議会（西原鈴子会長）は20日、宮城県気仙沼市の鳴き砂の浜として知られる「十八鳴浜（くぐなりはま）及び九九鳴き浜（くくなきはま）」など8件を天然記念物に指定するよう高木義明文部科学相に答申した。二つの浜は東日本大震災で津波に襲われ、がれきに埋もれたが、震災後も鳴くことが確認されている。また、富士山北麓（ろく）に点在する山梨県の「富士五湖」など4件を名勝に、7世紀後半の九州の防衛拠点とされる「阿志岐（あしき）山城跡」（福岡県筑紫野市）など4件を史跡に、それぞれ指定するよう答申した。近く指定が告示され、史跡が1685件、名勝が364件、天然記念物が993件となる。

十八鳴浜は気仙沼湾に浮かぶ大島に、九九鳴き浜は唐桑半島にある。鳴き浜の天然記念物は、天然記念物と名勝に指定されている京都府京丹後市の琴引浜に次ぎ2件目。富士五湖は山中湖が山中湖村に、河口湖、西湖、精進湖が富士河口湖町に、本栖湖が同町と身延町にある。【木村健二】

漂流してきたがれきが散乱する十八鳴浜＝須藤唯哉撮影

文化審議会の主な答申内容は次の通り。かっこ内は所在地。

＜史跡の新指定＞旧奥行臼駅逓所（北海道別海町）▽宇摩向山古墳（愛媛県四国中央市）▽阿志岐山城跡（福岡県筑紫野市）▽日向国分寺跡（宮崎県西都市）

＜名勝の新指定＞伝法院庭園（東京都台東区）▽殿ケ谷戸庭園（東京都国分寺市）▽富士五湖＝山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖（山梨県富士河口湖町、山中湖村、身延町）▽旧伊藤伝右ヱ門氏庭園（福岡県飯塚市）

＜天然記念物の新指定＞平糠のイヌブナ自然林（岩手県一戸町）▽十八鳴浜及び九九鳴き浜（宮城県気仙沼市）▽善養寺影向のマツ（東京都江戸川区）▽柿田川（静岡県清水町）▽中村川ネコギギ生息地（三重県松阪市）▽小野川の阿蘇4火砕流堆積（たいせき）物及び埋没樹木群（大分県日田市）▽竹田の阿蘇火砕流堆積物（大分県竹田市）▽薩摩黒島の森林植物群落（鹿児島県三島村）

＜登録記念物の新登録＞東遊園地（神戸市）▽棲霞園（長崎県平戸市）

＜重要文化的景観の新選定＞利根川・渡良瀬川合流域の水場景観（群馬県板倉町）▽佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観（新潟県佐渡市）▽奥飛鳥の文化的景観（奈良県明日香村）▽佐世保市黒島の文化的景観（長崎県佐世保市）▽五島市久賀島の文化的景観（長崎県五島市）

逆境で人は変わる

三陸物語
Sanriku Monogatari

遠野市の消防士 堀切友哉さん③

「田掻（たか）き」が始まった5月半ば、岩手県遠野市に堀切友哉さん(26)を訪ねた。

大津波に襲われた釜石市で負傷者の応急処置に追われた3月11日。「悔いは残っていませんか」と聞くと、一言、こう答えた。「命を救えなかったことです」

あの日、夜半に釜石消防署の救急隊が現れて酸素ボンベと消毒薬が手に入った。だが、4人が重篤な状態だった。道は寸断され、ヘリが飛来したのは翌日の早朝。担架で運ぶ途中、一人の女性が息を引き取った。

堀切さんはその後も救命活動を続け、13日朝に弟と避難所を後にした。飲まず食わずに6時間歩き、最後はヒッチハイクで昼過ぎに自宅に着いた。30分ほど休んで遠野消防本部に出向き、「無事」を報告して、そのまま夜まで勤務した。

堀切友哉さんが乗務する救急車の内部

亡くなった女性の東京に住む息子さんに電話したのは、1週間後だった。ネットの掲示板で母親を捜していることを知ったからだ。最期の様子を報告し、力不足をわびると、息子さんは泣きながら「みとってくれて、ありがとう」と言った。

堀切さんは今回の体験で「仕事の意義と責任」を学んだという。来年1月、県消防学校の救急専科に入学し、救命術の向上を目指す。車には「いつでも対応できるように」と、救助道具を積むことにした。津波に流された愛車に替え、今は祖父から借りた車に乗る。

寝ずに救命に取り組んだ堀切さんの姿を見た弟(18)は、後日母親に言ったそうだ。「兄貴、見直した」。そして、その弟について兄いわく。「引っ込み思案で見知らぬ人とは口も聞けなかった弟が、避難所でみんなにお世話になりながら、率先して食料を調達するために缶詰拾いをした。逆境で人は変わるんですね」【萩尾信也、写真も】

＝この項おわり

◇

「三陸物語」は火～土曜日に掲載します。

時代を駆ける

YOSHINORI KANEKO

金子　美登〔10〕

≪有機農業を核とした食とエネルギーの自給の取り組みで、地元の埼玉県小川町下里地区が昨年度の「農林水産祭」（農水省など主催）むらづくり部門で天皇杯を受けた≫

地区全体が評価され、ともに喜びを分かち合えた。日本の戦後は、家電製品などを海外に輸出して外貨を稼ぎ、農産物を輸入する「外発的発展」だった。私たちが目指したのは、有機農業と地場の産業が互いに協力し、さらに地域の消費者が支えて「内発的発展」をするまちづくりだ。

≪次は森林の再生と里山づくり≫

戦後の復興の時代、日本は住宅再建のための木材を増やす必要に迫られ、雑木林を切ってスギやヒノキなどの針葉樹を植えた。ところが外国の安い木材が輸入され、手入れのされない山林は太陽の光が入らず、下草も生えなくなった。

今度は国を挙げて戦後の逆をやる。もう一回、その地に生えていた木を山に植える。だから地元では、50年前の里山に戻そうと提案している。手入れされた里山には野鳥が飛び交い、動物たちが集まり、生物の多様性が復活する。

≪それは東日本大震災の復興にも共通する≫

森がよみがえれば、川の清流を取り戻せる。それが海までつながり生態系が回復する。森にはクリやブナ、イチョウなど実のなる木も植え、やがてその果実が熟れて、河原の石のようにぽろぽろと落ちるとき、再建の光が見えてくるだろう。

被災地の農家の人々も家や土地を流され、避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている。でも「いずれ帰るときが来るまで自給して暮らしたい」という人には、国や自治体が耕作放棄地を借り上げて無償で提供するような仕組みをつくるべきだ。私たちは有機農業での自給を応援する。

≪そこにある資源で食とエネルギーを自給する地域をつくる。これが若者たちへのメッセージ≫

土を軸にして喜怒哀楽がある。手の届くところに食とエネルギーと水がある。こんな豊かなことはない。いま、この国は出直しのとき。その土台は、いのちがめぐる農業、里山の文化だと思う。

＝金子さんの項おわり

2011・5・21

土を軸に真の豊かさを

かねこ・よしのり　埼玉県小川町生まれ。妻友子さんと霜里農場経営。NPO法人全国有機農業推進協議会理事長。63歳（写真は17日、同農場で金子夫妻）

聞き手・明珍美紀（写真も）／24日から、在宅緩和ケアの医師、岡部健さん

砂音「クッ、クッ」復興エール

震災耐えた十八鳴浜、九九鳴き浜――「財産」

気仙沼市の離島、大島の「十八鳴浜（くぐなりはま）」と、島の対岸にある「九九鳴き浜（くくなきはま）」。浜にはいまもがれきが残るが、砂浜が奏でる音は奪われなかった。かすかな砂音は、復興に向け少しずつ動き始めた町へのエールにも聞こえる。

蹴るように歩くと、「クッ、クッ」と鳴った。「ほら、今鳴いたでしょう」。島で暮らしながら観光客らに十八鳴浜を案内するボランティアガイド、小野寺しめ子さん(71)が足元を指さした。

十八鳴浜は南北約200メートル、東西約20メートル。たどり着くには高低差の大きい山道を歩くしかない。「（場所が）不便さゆえに自然が手つかずのまま残った」と小野寺さん。名称の由来は鳴く音を数字に例え「9＋9」で「十八鳴」と呼ばれるようになったとされている。

だが、津波に襲われた浜辺は、漁具や木材などのがれきが散乱。小野寺さんが再び浜を歩いたのは5月上旬。「鳴き砂は気仙沼市のかけがえのない財産。市民みんなで守っていかないと」。震災で親類4人を亡くし、1人が行方不明のままの小野寺さんは、目を潤ませて誓った。

「九九鳴き浜」（同市唐桑町）を守ってきた人たちも歓迎する。長年、浜の清掃活動に取り組んできた船員OBによる唐桑海友会の小山重雄会長(76)は「うれしい。一年に何回も掃除して愛してきた浜だから」と喜んだ。【須藤唯哉】

子供の心に傷

テレビ会議でカウンセリング

福島・新地

東日本大震災で受けた子供のストレスを和らげようと、福島県新地町教育委員会は「テレビ会議システム」を使った心理カウンセリング事業を行うことを決め、町立3小学校と名古屋市の支援団体に端末を設置した。町教委によると全国初の試み。

端末は保健室に設置。児童は名古屋市中区の「名古屋YWCA」の心理カウンセラーと相談できる。通信機器はIT企業「CISCO（シスコ）」（東京都港区）が提供した。【神保圭作】

福島市公立学校　夏休みを延長へ

福島市は、市立小中学校と養護学校計73校で、夏休みを1週間延長する方針を固めた。放射線量が周辺地域より高い状況が続き、窓を閉めたまま授業をしている学校が多く、暑さ対策の一環とする。市教委によると、授業時間は冬休みの短縮などで補う方向で調整している。【蓬田正志】

◆皇太子さま写真展視察

皇太子さまは20日、横浜市の日本新聞博物館で開催中の「特別展示　東日本大震災報道写真展」を視察した＝写真（代表撮影）。同展は毎日新聞など報道各社が撮影した震災のパネル写真90枚を展示している。

皇太子さまは、宮城県名取市の海岸を大津波が襲った写真（毎日新聞、手塚耕一郎記者撮影）や、女性が座り込み涙を流す写真（朝日新聞）、泥の中から見つかった大川小の児童のランドセルの写真（中日新聞）などに見入った。地震直後の避難所に掲げられた夕刊紙「石巻日日新聞」の手書きの新聞の説明も受けた。

◆来月仙台訪問へ

宮内庁の野村一成・東宮大夫は20日、皇太子ご夫妻が6月初旬に東日本大震災の被災地の宮城県を見舞う予定であることを明らかにした。ご夫妻の東北3県慰問は初。

野村東宮大夫や関係者によると、6月4日を予定しており、仙台空港を利用して、仙台市内の避難所を日帰りで訪問するという。ご夫妻はこれまで東京都内と埼玉県内の避難所を見舞っている。

また、宮内庁は20日、秋篠宮ご夫妻が25、26の両日に慰問のために岩手県へ、寛仁親王殿下が23、24の両日に宮城県を訪れることも発表した。

第3118回ナンバーズ
数字選択式全国自治宝くじ
（20日・カッコ内は口数）

ナンバーズ4	7289
ストレート	90万4400円(19)
ボックス	3万7600円(382)
セット・ストレート	47万1000円(116)
セット・ボックス	1万8800円(1836)
ナンバーズ3	966
ストレート	12万4600円(51)
ボックス	4万1500円(257)
セット・ストレート	8万3000円(134)
セット・ボックス	2万700円(323)
ミニ・下2ケタ	1万2400円(475)